法政大学経済学部 同窓会報

この会報は、皆様の会費とお寄せいただいた浄財で作成しお届けしています。

エンジョイ経友会同行記

歴史の重みを実感！

ポルトガル・スペイン旅行に参加して

第17回 海外旅行

経・経77年卒　吉川慎一氏夫人　吉川　信子

サグラダファミリアを始めとするガウディの作品群やアルハンブラ宮殿など、スペインには数多くの世界遺産があることは知っていました。マドリードには世界三大美術館ともいわれているプラド美術館があり、スペインにはいずれ行ってみたいと思っていました。

今回、主人が会員となっている経済学部同窓会の海外旅行に同行させていただきました。出発を控え邦人が海外でテロの犠牲となる事件があり不安もよぎりましたが、世界遺産に惹かれ参加しました。

世界情勢に関わりなく、現地では予定した全ての世界遺産を見学することができました。前述の著名な遺産だけでなく、ジェロニモス修道院やセビリア大聖堂など荘厳で重厚なものばかりでした。歴史の重みを実感し、世界史をもっと勉強すべきだったと遅すぎた後悔。プラド美術館ではゴヤやエル・グレコを、国立ソフィア王妃芸術センターではピカソやダリの作品を鑑賞しました。ベラスケスの「官女たち」が印象に残っています。

セビリア・スペイン広場

ル・スペイン旅行となりました。同窓会の皆さまには大変感謝しています。

楽しく充実したポルトガ

淡紅色の桜花が湧き上がる

母校周辺のさくら見物

第1回 さくら見物の会

経・経12年卒　鈴木　恵子

山のサクラが美しく長く咲くことを願って、花見の習慣が農民の間に生まれた。酒肴を用意して山に登り、花に祈りながら春の一日を楽しく遊んだという。極めて生活に基づいたものであったが、平安時代には上流社会が中国文化崇拝の風潮から国風文化へと変化し、サクラを愛でながら酒宴と遊芸などを楽しむようになった。時代の流れと共に花見は底辺を広げ、都会生活者である町人たちの大きな娯楽となった（園芸植物大事典2）。

3月29日（日）に催された「法政大学周辺のさくら見物」に参加し、サクラで淡紅白色になった靖国通りを、九段方面へ進んだ。一口坂との交差点に母校関連のグッズ販売店が臨時営業しており、通常営業は月～金とのこと。九段校舎の説明を聞き、靖国神社の境内の桜を観賞したが、多くが高木で見物人の頭上高くに広く枝を伸ばし、やさしさを思わせる空間を創っていた。ボアソナードタワーの姿は、力強くその空間の上に認められた。

千鳥が淵のサクラも美しく、遊歩道の足元から花が湧き上がって見物人の視線を上方、下方へと向かわせ、身との距離が近かった。

サクラを堪能した後の懇談会は、男性12名、女性4名の参加者全員で大いに盛り上がった。

背景にボアソナードタワー

楽しい大人の遠足でした

芝浦運河エリアを散策

第41回 散策の会

経・経62年卒　堀木　悠一

5月23日（土）午前10時、JR田町駅改札口に男女13名が集合。駅を出たところの広場で軽く準備体操をしてから運河エリアへ。

東京オリンピックに向け運河沿いには素晴らしい遊歩道が整えられている。やがて「カニ護岸」に出た。石と石の隙間にカニやウナギの稚魚が生息している。目を凝らすと、「いた、いた！」黒っぽい小さなカニが。「何処、何処」。小学生の遠足のようだ。頭上高くモノレールが走る。万風海岸食堂で昼食。テラスで風に吹かれながらのランチはまた格別のもの。

運河沿いを行くとカモ、鵜やユリカモメ、別名都鳥も羽を休めている。ふと、こんな和歌を思い出した。「名にし負わばいざ言問わん都鳥わが思う人はありやなしやと」在原業平

最後の散策地、芝浦中央公園はバラの花が見頃を迎えていた。記念写真を撮り、解散地点の品川駅に歩け歩け。おしゃべりをしながらの楽しい大人の遠足でした。事業部会の田口裕吉、森勲両氏に感謝致します。

芝浦運河エリアの散策

天文台で宇宙を、神代植物公園で花を

国立天文台三鷹を見学

第3回大人の社会科見学

経・経62年卒　堀木　悠一

一時雨の予報が薄曇の天気になった6月16日（火）、JR武蔵境駅に男女23名が集合、路線バスで国立天文台三鷹へ。所定のワッペンを胸につけ、ガイド役の小池明夫職員の後に続く。まず、口径20センチの屈折望遠鏡が設置されたここでは一番古い第一赤道儀室を見学し、続いて「太陽系ウォーキング」に。これは敷地内の通路沿いに、太陽系惑星の距離を140億分の1、惑星のサイズを14億分の1に縮めて100メートルの距離に配置した展示である。さらに日本最大の屈折望遠鏡のある天文台歴史館や展示室で説明を受け、2時間の見学は終了。広大な敷地は緑に包まれ、社会科見学と共に森林浴も楽しめる素敵な一時でした。

日暮れにはまだ間があるので、天文台から歩いて15分ほどの神代植物公園に足を延ばし、花を観賞後はお待兼ねの深大寺そば。ビールやお茶で乾杯、楽しい時間は瞬く間に過ぎ、矢部哲夫氏の音頭で手を締めてお開きに。お世話下さった矢部、元角昌三、田口裕吉の各氏に感謝申し上げます。

国立天文台三鷹・正門の前で

エンジョイ経友会の予定

※　参加希望者は各担当者、または事務局（042-783-2550）へお申し込みください。

第4回　大人の社会科見学「リニア見学センターとぶどう狩り（山梨編）」

日　時：2015年9月12日（土）8:00　法政大学市ケ谷キャンパス集合
行　程：8:30出発　市ケ谷キャンパス―山梨県立リニア見学センター―ランチバイキング（石和：華やぎの章・慶山）―工場見学（桔梗屋「信玄餅」）―ピオーネ狩り（園内食べ放題：一古園）―市ケ谷キャンパス到着18:00～19:00
会　費：9,300円
定　員：45名まで。最少催行人員30名
担　当：中島愛一郎（080-4178-7759）
　　田口裕吉（04-7188-8499）
申込み：㈱小田急トラベル町田販売センター：中島（電042-727-1321：FAX042-727-3630）

第42回　散策の会「運河めぐりパート2・天王洲アイル」

日　時：2015年10月3日（土）10時JR品川駅中央改札口前集合
行　程：品川駅―三菱重工ショールーム―東八ツ山公園―楽水橋―高浜運河沿い緑地―御楯橋―東京海洋大学水産資料館―港南緑水公園―京浜運河沿い緑地―第一ホテル東京シーフォート―港南公園―品川駅
会　費：昼食代または懇親会（実費負担）
定　員：20名
担　当：森勲（090-1658-5525）
　　田口裕吉（04-7188-8499）
申込み：会場予約のため、9月25日（金）までにお申し込み下さい。

第13回　招福・七福神巡り「亀戸七福神」

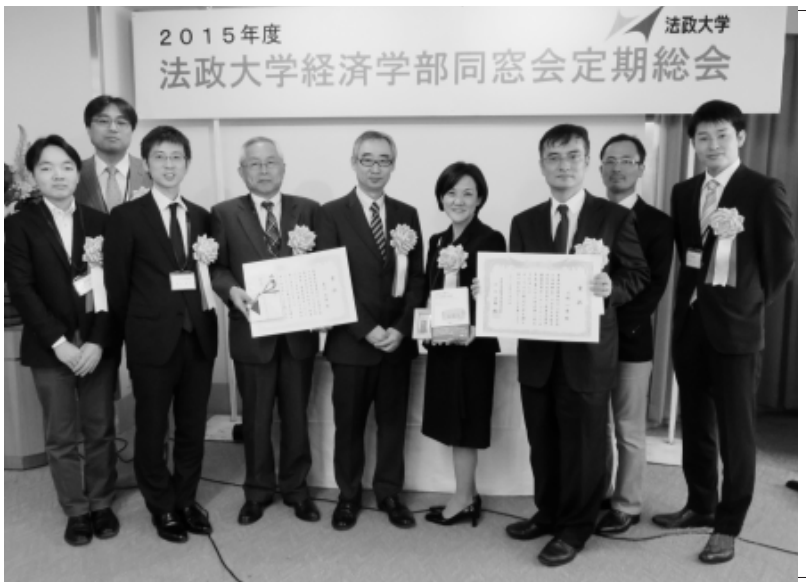
日　時：2016年1月9日（土）10:00
　　JR亀戸駅改札口（北口）集合
行　程：龍眼寺―天祖神社―普門院―香取神社―東覚寺―常光寺
会　費：昼食代1,620円ビュッフェ15:00～
　　飲み放題メニュー1,820円（2時間）お茶の水駅そばホテルジュラク「あけびの実」
定　員：30名
担　当：高橋将昭（090-7900-3134、FAX03-3815-5232）
申込み：会場予約のため12月1日（火）までにお申し込み下さい。

第18回　海外旅行「ドイツ・ライン川クルーズとロマンチック街道周遊の旅」

日　時：2016年5月18日（水）～26日（金）（7泊9日）
訪問先：ベルリン⇒ポツダム⇒フンボルト大学（予定）⇒フランクフルト⇒ライン川⇒ケルン⇒ハイデルベルグ⇒古城街道⇒ローテンブルグ⇒ロマンチック街道⇒ミュンヘン⇒ノイシュバンシュタイン城　（羽田発着）
費　用：38.9万円（燃油サーチャージ含む）
詳　細：経友会ホームページまたはチラシをご覧願います。チラシをご希望の方には郵送します。
担　当：菅野里見（090-8682-1281）
　　元角昌三（080-2006-8787）

第23回 森 嘉兵衛賞受賞者の皆さん

写真・菅野里見



編集後記

経友会の今年の海外旅行は「ポルトガル・スペイン春の旅」。「近来になく」充実したものだったという。旅行の中心メンバーに経友会旅行の意義をも含めてレポートをお願いした。

今年は「平和祈念碑建立20周年」にあたる。経友会はその「20周年記念事業」の皮切りとして、7月25日に碑前で記念集会を開き、呉正男先輩の戦争体験を伺った。呉氏の講話内容は、11月に行われる第二弾の諸行事とあわせてご報告させていただきたい。

「会員短信」は投稿が多く感謝。300字以内でお願いいたします。（小倉）

@事務局通信

◇5月から6月にかけての事務局は、定期幹事総会、森嘉兵衛賞授与式、オレンジの集いの準備と実施でおおわらわでした。その中で、6月一杯で23年間も事務局を守って下さったお二人の廣田さんの退職が決まり、後任の方を探す必要に迫られ、いろいろと心配でした。

◇お二人の廣田さんのご退職は、残念極まりないことでしたが、経友会には、まだ運が残っていました。大浦さん、下浦さんという、願ってもないお二人に来て頂けることになりました。

◇新ウラウラ・コンビは、平和祈念碑建立20周年記念事業の準備と実行に、既に大活躍して頂いています。会員諸兄姉にも、この新コンビをよろしくお願い申し上げます。（加藤）